

もくじ

この本を読むみなさんへ……………4

1章 まんがからひろがるコンテンツ

まんががいろいろな方法で楽しめる……………6

まんががアニメになるまで……………8

まんががテレビドラマになるまで……………12

コラム1 アニメやドラマは映画になることも!?……………15

まんがが演劇やミュージカルになるまで……………16

まんががゲームになるまで……………18

まんががグッズになるまで……………20

まんがが小説になるまで……………22

スピンオフってどんなもの?……………23

コラム2 アニメやドラマ、ゲームも

いろいろな方法で楽しめる……………24



2章 まんがで地域活性化

まんがの舞台を訪れる……………26

まんが家によるまちおこし……………28

コラム3 いろいろなものとコラボするまんが……………30



3章 まんがのメリットを生かして

勉強になるまんが「学習まんが」……………32

広告にもまんがが使われている……………34

特別インタビュー

学習まんが家
くろにやこ。先生……………36

コラム4 体験談をまんがにする実録まんがって?……………38

さくいん……………39



この本に出てくるキャラクター



ネム

まんがのようせい。
まんがのことなら、荷
でも知っている。



カケル

まんが家を自指している元
気な小学5年生。まんが
は読むのも描くのも好き。



コマリ

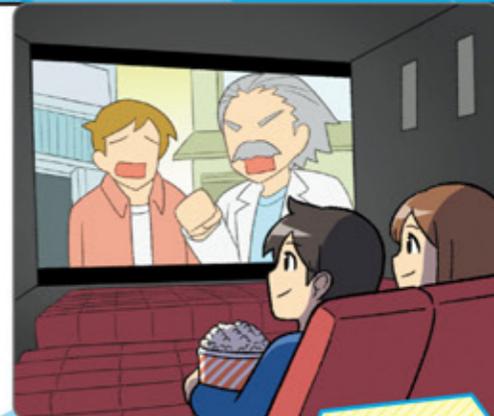
しっかり者の小学5年生。
まんがのモデルになった
場所へ行くのが好き。

まんががいろいろな 方法で楽しめる

まんがは人気が出ると、アニメやドラマ、ゲームなど、
さまざまな表現になって楽しんでいます。

いろいろな形に変わって 楽しめるまんが

人気の出たまんがは、映像作品やグッズなどに
形を変えてひろがっています。最近のアニメやドラ
マは、まんがが原作となっているものが多いです。
ほかにも、ゲームや舞台、小説、歌舞伎の題材にな
ることもあります。1980年ごろから1つの作品か
らほかの形に展開することが多くなりました。



しょうせつ
小説



ゲーム

こんなに
たくさんの
形になるの!?



まんがが アニメになるまで

まんががアニメになって、テレビやインターネットで
放送されるまでの流れを紹介します。

世界でも人気の日本のアニメ

たくさんの絵をつなぎ合わせて1つの映像にするアニメ。絵だけではなく、CGを使ってキャラクターや背景、動きをリアルにする技術も取り入れられています。それぞれの作業をその分野のプロが担当して、30分アニメの制作にかかわっている人数はおよそ200人もいます。テレビアニメを1クール(全13話)制作するときの期間は約1年で、費用は約1億5000万~2億円かかるといわれています。



アニメが放送されるまでの流れ(一例)

1 企画を立てる

制作会社や放送局、出版社、スポンサーなどが集まった製作委員会が作られ、あらすじや予算、スケジュール、スタッフなどを決めます。



2 シナリオを書く

原作とあらすじに従って、脚本家が話ごとにシーンの情景や登場人物の行動、セリフなどを文章にまとめます。原作の話を再構成したり、オリジナルの話を作ることもあります。



テレビドラマや(→P12)
舞台(→P16)なども
始めに企画を立てて
シナリオを書くのは同じだよ

3 キャラクターの デザインや 色を決める

登場キャラクターの細かなデザインや世界の設定を確認します。さらに、作品全体でどのような色を使うか(色彩設計)を決めます。



4 絵コンテを描く

絵コンテとは映像を作るときに設計図のようなものです。シナリオをもとに、キャラクターの動きやカメラのアングルをまんがのコマのように分けて作ります。



5 作画する

描く絵には「原画」、「動画」、「背景」の3種類があります。原画は動きのカギになる部分で、動画は原画の間をつないで動きをスムーズにする部分です。ボールが右から左に移動する動きの場合、ボールが「右はしにある絵」と「左はしにある絵」が原画、その間の「少しずつ移動している絵」が動画です。このとき、動画にはまだ色の指示だけで色は付けません。背景は原画や動画とは別進で、色まで付けて完成させます。



動画の枚数が
多いほど
動きがなめらかになるんだ



まんががテレビドラマになるまで

まんががテレビドラマになって、テレビやインターネットで放送されるまでの流れを紹介します。

実際の人間が

まんがのキャラクターを演じる

テレビドラマにはまんがが原作となっているものが多くあります。俳優がキャラクターを演じていて、少女まんがやミステリーなどの現代日本が舞台となっているまんががドラマ化しやすくなっています。番組にもよりますが、ドラマを1話(1回)撮影するのにかかる期間は約1か月で、費用は1350万~7900万円かかるといわれています。



テレビドラマが放送されるまでの流れ(一例)

1 企画を立ててシナリオを考える

2 ロケ地を決め、小道具やセットを作る

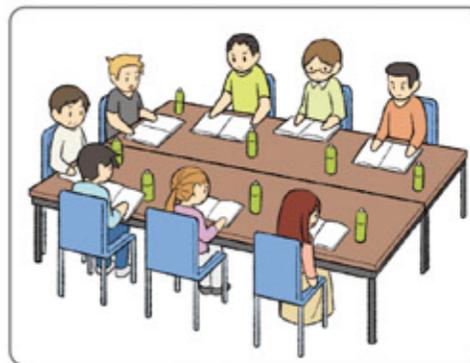
内容が決まったら、「美術」と呼ばれるスタッフがスタジオのセットを作り始めます。外で撮影する場合は撮影場所をどこにするかも決めます。さらに、小道具や衣装などの撮影で使うものをそろえていきます。



3

本読みをする

ドラマにかかわるすべてのスタッフが1部屋に集まって顔合わせを行ったあと、リハーサル室で台本の読み合わせをします。このときはまだ俳優は座ったままで、監督や演出家が声の強弱や感情などを指導します。



4

リハーサルをする

リハーサル室やセットで実際に演じて俳優の動きを決めます。その後、カメラのアングルや照明の位置を決めていきます。



もっと知りたい!

本番前にはたくさんのリハーサルがある

立ち稽古

リハーサル室で机などセットに見立てて俳優が演技をし、俳優の動きや立ち位置を細かく打ち合わせます。

ドライリハーサル

実際のセットで俳優が演技をし、動きや立ち位置を確認します。照明は入れますが、カメラはまだ使用しません。

カメラリハーサル

本番と同じように現場を再現し、カメラでアングルや動きを確認します。調整が必要な場合は、芝居を止めて調整します。

ランスルー

すべての調整を終えて、本番と同じように止めずに行う通し稽古です。これが最後のリハーサルです。

こんなに確認するんだね!



次は本番だ!!